

ワンちゃんをお迎えになったお客様へ

ワンちゃんをお迎えになり、ご家庭が賑やかになったのではないのでしょうか。しかし、元気いっぱいのワンちゃんだからこそ、気をつけなければいけないことがあります。今回はそのうちの1つである「骨折」の防止策をお届けします。

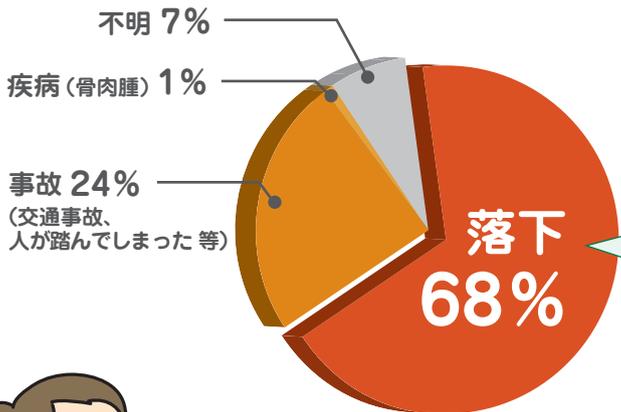


動物病院さんに伺ったところ、

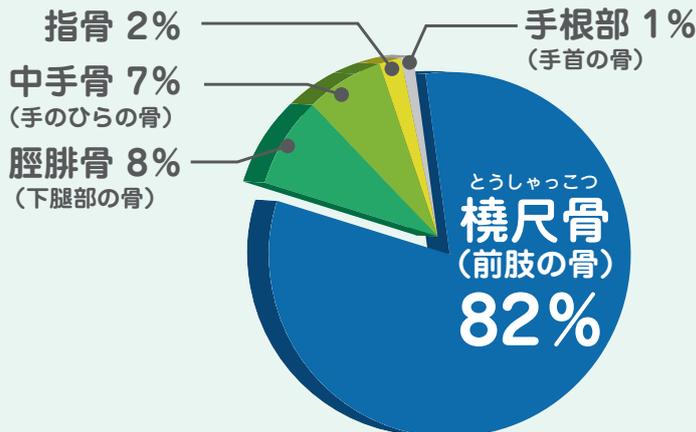
骨折の原因の**約7割**は**飼い主様の不注意**により発生していることがわかりました。

(アニコム損保 給付サービス部 調べ)

骨折の原因



落下による骨折部位



落下による骨折が多いのね！

最も多いのが前肢の骨折！



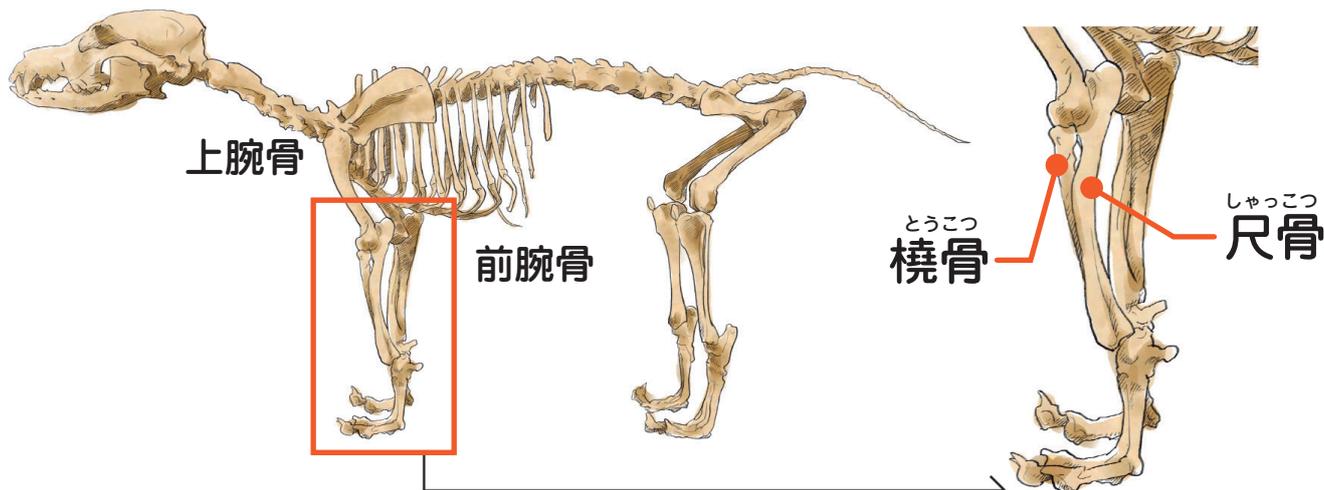
ワンちゃんの前肢の骨は、上腕骨と前腕骨などから構成されています。

その中でも手首から肘(ひじ)までの間の前腕骨は、橈骨(とうこつ)と尺骨(しゃっこつ)という2本の骨からなり、上腕骨と比べると骨が細いのが特徴です。

また、この2本の橈骨・尺骨は、バネのような働きをしており、歩行時や走行時の着地の衝撃をやわらげる役割があります。

しかし、高い場所からの落下など、衝撃が大きすぎると負担となってしまいます。

結果として、上腕骨に比べ、橈骨と尺骨の骨折が多くなるのです。



落下による骨折防止策

楽しいコミュニケーションの時間や、人間が快適と感じる生活環境にも、ワンちゃんにとっては骨折の危険性が潜んでいます。小さなワンちゃんの保護者は、ご家族の皆さまです。ワンちゃんの骨折を防ぐため、おうちの中の環境と生活スタイルを再度確認しましょう。

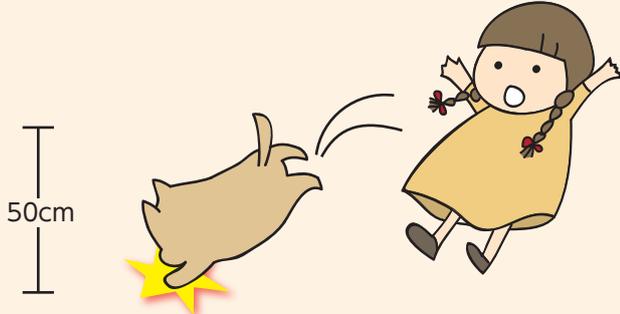
注意レベル

⚠️⚠️⚠️ 非常に高い

⚠️⚠️ 高い



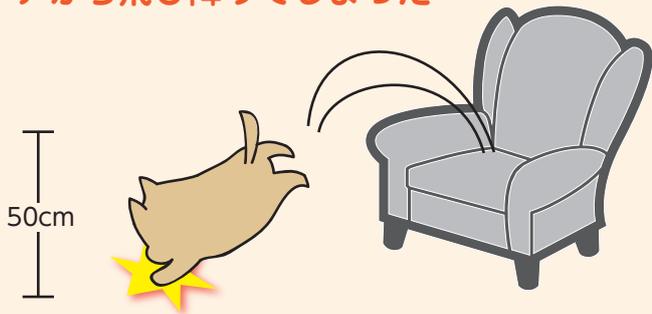
お子様による抱っこ中に手から離れてしまった



✔️ 大人がサポートしてあげましょう。



ソファから飛び降りてしまった

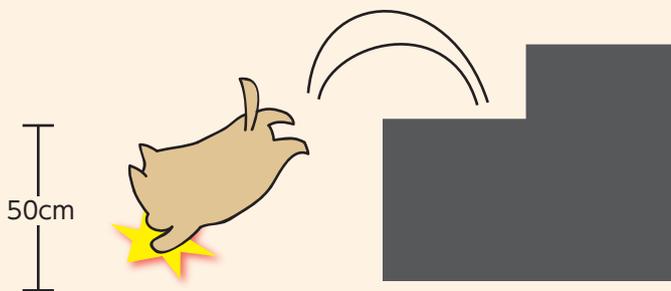


✔️ 家族がサポートして降ろしてあげましょう。

✔️ 下にクッションなどを置き、高低差をなくしましょう。



段差のある場所から飛び降りてしまった



✔️ 興味を持ちそうな物を置かないようにするなど、危険かもしれない場所に行かせない工夫が必要です。



フローリングですべて転んでしまった

✔️ すべらないようカーペットなどを敷きましょう。

✔️ 足裏の毛をこまめにカットしましょう。



落下以外に「すべて転ぶ」ことでの骨折も多いため、要注意です。

特に骨折が多い犬種



トイ・プードル



ポメラニアン



イタリアン・グレーハウンド